

★2月の特集展示からの5作品★

2月のYAの特集展示は、中央図書館の特集棚(29書架)で行います。ここでは、ブックリストで詳しく紹介できなかったものの、オススメの5作品をご案内。ぜひ中央図書館へ来てチェックしてみてください。

- ※『女子高生短歌!』エリ (Y911.1-エ)
- ※『はじめての文学—山田詠美』山田 詠美 (Y913.6-ヤ)
- ※『恋って、どんな味がするの?』芥川 龍之介/ほか (Y913.6-ド)
- ※『チョコレートの妖精』片山 令子 (Y726.6-カ)
- ※『アーモンド入りチョコレートのワルツ』森 絵都 (Y913-モ)

橋上のLove Story&Love Song

ビデオ・CD・DVDでも揃ってます!

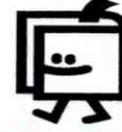
- ※『ショコラ』ラッセ・ハルstrom監督 (D7BF-シ)
- ※『初恋のきた道』チャン・イーモウ監督 (D7BF-ハ)
- ※『ロミオとジュリエット』フランコ・ゼフィレッツィ監督 (Y498-ヴ)
- ※『B-SIDE』Mr.children (C7CA-ミ)
- ※『初恋サンセット』メレンゲ (C7CA-メ)

最近、自分に買いたい!と思わせる美味しいチョコもたくさん出回って、売り場も大賑わいですね。手作りするのも楽しいけれど、チョコのテンパリング(温度調節)は、難しいんですよ。本命や友チョコ、皆さんは何個くらいチョコを準備するのでしょうか? 本や映画・音楽で気分を盛り上げて、すてきなバレンタインを過ごしてくださいね。恋人への愛や友達への愛、家族への愛、部活や仕事への愛など、さまざまな愛があると思いますが、どうかみなさんの気持ちが、それぞれの相手にちゃんと届きますように…。



ヤングアダルト BOOK LIST 第6号
平成19年1月31日(木)発行
稲城市立中央図書館
稲城市向陽台4-6-18 042-378-7111

稲城市立図書館 ヤングアダルト



BOOK LIST

まずはYA新着資料から
おすすめ本をPick up!



最近ヤングアダルトコーナーに新しく入った本で、自分がYA世代の頃に読んだ漫画家さんが今も活躍されているのを知りました。あの頃のまま、絵も優しく、YA世代の気持ちを代弁してくれるような内容でした。久しぶりにいろんな事を思い悩んだ頃の気持ちを思い出しました。その漫画家さんが大好きだった友人のことや、友人の家の様子までウン十年ぶり(!)に浮かんできました。YA世代のみなさんもオトナになった時に、いま読んでいる本や、いま好きな作家の本を読んで、友達のことや悩んでいたことをこんな風に懐かしく思い出すことがあるでしょう。本から広がる無限の世界。感受性が豊かなときにこそ、たくさん本を読んでもらいたいなあ…と、お姉さん(?)的な感慨もひとしおの1冊を紹介します。

※『マイガーデナー』 紡木 たく (Y726.1-ツ)

主人公は多感な時期の女の子さな。その気持ちが紡木たくの優しい画とともに痛いほど伝わってきます。紡木さん独特の、話ことばをそのまま文にしたような表現方法や、小さく描かれた文中のワンシーンのイラストが気持ちを温かくしてくれます。言葉にできない異性への気持ちや家族との感情のすれ違いなど、同じ境遇になくともYA世代なら共感できる人も多いと思います。



バレンタイン&ホワイトデー特集

バレンタインデーやホワイトデーが日本に定着して、どのくらい経つでしょうか。世間的にはこの風習に対して賛否両論ありますが、渡す人ももらう人も、そのドキドキ感や年々1回！やっぱり楽しいものだと思います。YAのみなさんは、ガンバって手作りしたりもするのかな～。

今回のブックリストは、バレンタイン気分を高める恋愛小説や、いろいろな楽しみ方ができるチョコレートの本などを紹介します。



※『告白。』 芦原 すなお／ほか (Y913.6-A)

アンソロジーなので、いろいろなタイプの告白を1冊で楽しめます。恋あり、友情あり、感謝の気持ちあり。どの短編も告白する前の緊張感が伝わってきて、ドキドキします。バレンタインに告白しようか迷っている人！読んだらちょっと勇気がでるかもしれませんよ♪



※『制服のころ、君に恋した。』 折原 みと (Y913.6-O)

ヤングアダルトコーナーにありますが、実は主人公は28歳の女性です。高校時代の恋愛と、現在の主人公の話が交錯する形で進んでいきます。いま YA 世代のみなさんが読んだら、「いま」という時間の貴重さに少し気づけるかも？そしていま大人になった、10年前ぐらいに YA だった人が読んだら…懐かしい気持ちだけでなく、しっかり前をみて歩いていかなきゃな。って気持ちをもらえる一冊です。

※『14歳の本棚—初恋友情編』 北上 次郎／編 (Y913.6-K)

石田衣良、山田詠美、佐藤多佳子など、いま大人気の作家から、三島由紀夫のようなちょっとシブい作家の作品まで、文庫本1冊に恋と友情がたっぷり詰まっています。タイトルに(抄)とついているものは、作品の一部を抜粋して収録しているもの。続きが読みたくなるようなお気に入りを見つけて、ぜひ全編通して読んでみてください。



※『スイートスイーツショコラ』 ゆうき りん (Y913.6-U)

全編とおして、こんなにチョコチョコチョコの小説は初めて読みました。主人公の智代は、友だちとフランスを旅行中に食べたチョコに、今までのチョコ観(?)を覆されてからは、寝ても覚めてもチョコの日々。そして28歳の今、人生の理想と現実と揺れています。ほかにも数人の登場人物がいますが、YA 世代のみなさんは女子高生の愛子に共感するでしょうか？クーベルチュールやテンパリングなど、読んでるうちに、チョコっとチョコに詳しくなって、バレンタイン当日はトリビアンヌになれるかも?…(「ー」;)))



※『檸檬のころ』 豊島 みほ (Y913.6-T)

田舎の同じ高校に通う生徒が、交代で語り手になる短編集です。誰かを好きになりかけているときの、あのなんとも言えない気持ちの描写が妙にリアルだなあ。と感じました。短編のストーリーやそれぞれの登場人物がリンクしていて、同じ人物の印象が語り手によって違っているところも読ませます。特にドラマチックなことは起こらないけど、だからこそ、誰が読んでも共感できると思いますよ。



※『男子のための恋愛検定』 伏見 憲明 (Y152.1-F)

冒頭に30項目の「恋愛検定テスト」があります。中高生で「黒帯」判定の人なんているのかな。他にも「恋の成分表分析」など、面白い解説がたくさん。バレンタインで大本命の女子からチョコをもらえた男子諸君！浮かれる前にこの検定を受けて、恋愛とそれにまつわる性の問題を一度マジメに考えてみては？もちろん女子にも有効です！

※『友チョコ&友スイーツ手作りレシピ』 主婦の友／編 (Y596.6-T)

なにがすごいって、本の副題が「20人分で1000円！」ってところ(笑)学校に手作りチョコを持って行って、友だちみんなと交換してワイワイ楽しむバレンタイン。中学・高校生のバレンタインって、実はこれが王道かもしれない。本命チョコにはちょっとオススメできないけど(なにしろ20人分で1000円だし…)、でも2月14日はクラスメイトや部活仲間とチョコを食べまくるぞー！って人にはオススメのレシピ集です。

